

“こうべ”の市民福祉総合計画 2020 検証・評価シート（平成 29 年度まで）

方向性（基本目標）
 1. 市民が安全に安心してくらすための確かな土壌～フォーマルサービスの安定的供給～
 （1）福祉サービスの充実と包括的な供給

具体的方策（個別目標）
 ③ 福祉における個人情報の保護と情報の共有化

所管課： 暮らし支援課

ア. 趣旨・目的
 適切な福祉サービスの提供や地域福祉の推進のために、個人情報の保護と利用のバランスを考慮した情報共有のあり方について検討していきます。

イ. 主な取組の実施状況

①災害時要援護者支援にかかる個人情報の取扱いについて
 災害時要援護者支援にかかる個人情報の取扱いについて、平成28年4月に開催された「神戸市における災害時の要援護者への支援に関する条例」に基づき、①名簿管理を定めること、②個人情報の取扱いに関する協定の締結、③個人情報の安全管理措置を講ずること、④目的外での利用・提供の禁止、⑤支援活動で知れた個人の秘密の漏洩防止について定められている。これらのルールを支援団体に對して説明を行い、個人情報の適切な管理を求めている。

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
実施状況	〇〇か所	〇〇か所	〇〇か所	〇〇か所	〇〇か所

※取組地区・団体数

ウ. 関連する事業費

事業名	H28 決算額	内訳
〇〇〇事業	〇〇〇千円	説明会、需用費

エ. 課題（現在取組みが進んでいない点、今後必要とされる取組み等を具体的に）

- ・〇〇〇については、未だ認知度が低いことが課題である。
- ・〇〇〇事業は低調であるため、今後方向性を検討する必要がある。

オ. 評価＜所管部局による自己評価＞
 A：順調に進んでいる B：概ね順調だが、不十分な点もある C：推進できている部分もあるが不十分な点も多い D：未着手も含め、今後改善が必要である

※評価の際に考慮する視点

- ・目標に向かってどれだけ達成できているか。
- ・分野別計画で目標値がある場合、目標に対して実績が伸びているか。
- ・実施方法の見直し等改善した点があるか。
- ・新規に事業を実施したか。
- ・PT の開催や関係者の検討会等実施に向けて内部で検討する等の取組みを進めたか。
- ・計画の基本理念に向かって、地域福祉が進んでいるか。

【評価 B】
 ・協定締結団体が〇〇〇団体増え、個人情報の共有を進めることで、地域における〇〇〇のような活動が広まっている。

カ. 今後の方向性・新たな取組み

- ・今後新たに〇〇〇事業をおこなう。
- ・今後は民間事業者や市民と協働し、〇〇〇を行っていく。
- ・認知度を高めるため、〇〇〇を行っていく。
- ・〇〇〇事業については、実施方法等内容の見直しをおこない、条件や環境を整備していく。
- ・〇〇〇事業と連携し、効率化を図っていく。

キ. 委員の意見

- ・今後は〇〇〇が課題なのではないか。